

社会福祉事業

1, 特別養護老人ホーム水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
利用者延人数	2,276	2,335	2,329	2,466	2,477	2,304	2,442	2,269	2,349	2,396	2,159	2,306	2,342
1日平均数	75.9	75.3	77.6	79.5	79.9	76.8	78.8	75.6	75.8	77.3	77.1	74.4	77.0
稼働率	90.3%	89.7%	92.4%	94.7%	95.1%	91.4%	93.8%	90.0%	90.2%	92.0%	91.8%	88.6%	91.7%

② 日常生活状況（3月末時点）

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
人数	33	24	23	4	43	33	0	41	39	1	4	0
区分	寝返り			車椅子			整容動作			褥瘡	胃ろう	酸素
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助			
人数	34	23	23	14	20	41	13	35	32	4	3	0

③ 計画に関する報告

ベッド数	84 床	年間利用可能床数	30,660 床
------	------	----------	----------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 94.4% 目標	・ 未達成 91.7%
・ 昨年度より入院人数の削減を試みる（－5％）	・ 集団感染発生のため未達（65回）
・ 平均空床期間を昨年度より削減する（－5％）	・ 集団感染発生のため未達（20日/回）
・ 定期的なルート営業先を検討し実施（月1回）	・ 感染対策継続のためFAXなどでの対応
・ 取手市外エリアの営業先選定及び実施と、新規提携先を開拓（2か所）	・ 千葉県船橋市高齢者福祉課との連携 ・ 今後も継続
・ 顧客不足下においても集客を向上させる営業手段の検討（月2回検討と実施確認会議）	・ 稼働安定会議にて検討を実施
・ 魅力度UPへの改善点や方針の検討	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応

・ 感染症拡大時もしくは、その前段階時での入居受入方針を臨機応変に	・ 集団感染の状況に応じて医師の指示のもと迅速にすすめる体制の構築
・ 顧客満足度（CS）向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 稼働安定会議にて検討を実施
・ 日常生活継続支援加算の継続を意識する	・ 達成
・ 新たな加算への検討と実施	・ 検討中

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラムの継続実施 ・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施（年2回）	・ eラーニング等で学ぶ体制の整備 ・ リーダー会議などを通して育成する体勢の整備
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 実施 ・ 受講（介護福祉士会、老施協等主催）
(2) 外部研修計画	
※ 要実施研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容把握	
※ ジョブメドレーアカデミー（eラーニング）の活用	
i 介護職 ・ 介護技術 ・ ユニットケア ・ 認知症ケア ・ ターミナル対応	・ 実施 個人受講、外部研修受講
ii 事務職 ・ コンプライアンス、プライバシー、ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講、外部研修受講
iii 専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講、外部研修受講
iv 全共通 ・ 感染症関連 ・ 防災防犯 ・ 権利擁護、身体拘束関連 ・ ICT、AI関連・各種管理者研修 ・ AED使用訓練	・ 実施 個人受講、外部研修受講
v 専任担当者 ・ カスタマー対応（苦情対応）・リスクマネジメント関連 ・ 安全運転 ・ 介護保険関連	・ 実施 個人受講、外部研修受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	・ 労務管理ソフトの導入検討
・ 専門業務をより集中させるための業務仕訳とその改善方法を検討	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 効率UPに繋がる ICT・AI等活用の見守り等の機器の調査	・ 介護ソフト（ケアカルテ）の活用
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）	・ 時期により差があるが取組み中

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
(1) 排泄介助関連	
i 排泄支援加算算定の準備 排泄に関して個々に施設入所時、あるいは介護保険更新時等の基準日と比べて、状態の改善、オムツの使用ありからなしへの改善率の向上を目指し、日中のオムツ利用者の減少を試みるための基盤作り。 プライバシーの保護、意思の尊重、安全への配慮、機能の維持	・ 加算算定についての検討 今年度は保留 ・ 継続実施 ・ 継続実施
ii 排泄介助にかかわるケアマイスター制度の創設、実施 ご利用者の清潔保持、尊厳保持、心地よさの追求 職員の技術力向上の底上げ、技術が優れた職員の絞り込み、指導者の選定 漏れなどが減少することによる経費削減 称号を得ることでのモチベーションのアップ	・ コロナ禍により中止 ・ オムツメーカー変更に伴い再度検討 ・ 継続実施 ・ ケアマイスター制度の活用予定 ・ メーカーの変更により経費の節減
(2) 栄養口腔ケア関連	
i 栄養マネジメント強化加算算定のための準備 低栄養リスクの高い方への栄養状態、嗜好、変化等のラウンドによる確認の継続	・ 人員配置基準より加算算定は保留 ・ 管理栄養士変更に伴う見直し 継続実施中
ii 口腔衛生管理加算算定 歯科医師等が技術指導を年に二回以上実施し、口腔内の衛生管理の継続	・ 算定実施
(3) 入浴介助関連	
i 入浴の介助の方法について施設入所時、あるいは介護保険更新時等の基準日に比べて入浴方法の維持、向上等状態の改善、また変更の必要性についての検討を実施。適切な入浴方	・ 特浴→個浴 移行者 2名 ・ 個浴→特浴への移行者 7名 ・ 変更の必要性についてユニット会議で都度検討、状態悪化の場合は随時変更、

法を検討、維持するための基盤作り。維持率と変更率のデータ収集。	又は清拭対応。 ・退院後の一時変更などに迅速に対応
(4) 認知症対応関連 i 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアについての研修受講、研修内容についての伝達研修 認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ	・認知症実践者研修の受講者計2名 ・認知症ケア専門士の受講 1名 ・今年度は受講対象者なし ・会議等で事例検討の実施継続
(5) 医療対応関連	
i 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない重症者を出さない。 BCPの備え、シミュレーション等の訓練実施 正しい知識最新情報の収集、周知 発生時の初動対応、用品、用具の備え	・各種研修の受講 ・館内研修の実施 ・館内発生時の対応についての
ii 介護に必要な医療知識の向上	・館内研修の実施
iii 褥瘡予防対策 褥瘡マネジメント加算算定のための準備 褥瘡発生リスクの高い方について褥瘡管理の記録や検討を定期的に実施 褥瘡の発生率の減少	・褥瘡管理、多職種連携の実施 ・継続実施 ・今年度4名（入院中発生含む） ・館内での発生ではない褥瘡の対応
(6) 看取り対応関連 i 看取り介護加算算定のための準備 本人、家族との十分な話し合いの実施（ACP アドバンス ケア プランニング） 退所者内の看取り対応実績の推移 看取り後のグリーフケアや、ご家族からのご意見、看取り対応の振り返りを行う	・ACPについては未実施 嘱託医による館内勉強会を今後計画実施 ・館内お看取り数 8名 ・委員会にて振り返りの継続実施
(7) 権利擁護、プライバシーの保護関連	
i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底 虐待行為の禁止 プライバシー保護、個人情報保護	・委員会を通し継続実施
ii 身体拘束廃止未実施減算とならない取組、その周知徹底 身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取り組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施	・要件に沿った運営の継続 ・達成 昨年度 0件 ・年間を通して文章等で周知 継続 ・達成 継続
(8) 介助技術力向上 i 定期的な研修受講による介護全般の技術の向上を図る 外部講師（理学療法士）による動作介助の基礎から応用まで毎月1回 選抜数名により実施、各ユニット内で実践	・動作介助研修の定期開催継続 ・達成 継続 ・さらなるスキルの向上をはかる

⑤ 自立支援・重度化防止計画

項目	達成・成果等
・セラピストによる個別的な機能訓練の実施	・実施済み 継続
・嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の全体的な実施	・専門家指導の下、実施中 ・ユニット内にて定時実施
・栄養や口腔管理への意識向上	・継続
・LIFEへの適切な対応	・取組める加算の算定
・生活リハビリとして、洗濯物たたみ等の役割を訓練として実施、新たな提供内容検討	・洗濯、タオルたたみ・テーブル拭き・自室床ワイパーかけ・花の水やりなど
・新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	・感染対策を講じながらのリハビリの継続 ・集団感染発生時等に中断し減少
・昨年度より自立支援スタンプラリー実施人数の増加を目指す（コロナ感染状況による）	・集団感染発生時等は状況に応じて中断 未達成、 継続

⑥ レク娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・敬老会を縮小規模にて実施
・季節感を味わえるレクリエーションの提供	・四季に応じたレクリエーションの実施
・外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	・テイクアウト、ユニットごとの料理レク
・新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・各部署にて実施
・レク提供のアウトソーシング化を検討	・未実施
・DX（デジタルトランスフォーメーション）時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・検討中
・クラブ活動実施の工夫と参加促進（感染症対策を講じ、安全に配慮した実施の検討）	
(1)合唱クラブ	全体としての実施は無し
(2)書道クラブ	全体としての実施は無し
(3)映像鑑賞クラブ	全体としての実施は無し
(4)料理クラブ	全体としての実施は無し

⑦ 看取り時対応計画

※ ④－⑥ に準ずる

⑧ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 - 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ - 垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む） - 垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認 - 水平避難の検討、訓練（避難場所、避難方法など） - 全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）	- 委員会活動内での周知 - 部署ごとに屋上への避難経路確認実施 - 防災訓練等と合わせて実施 - 避難場所の検討等委員会活動内で周知 - 実施
(2) 地震対策訓練 - 施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練 - 非常食等の必要物資配布の訓練	- 小規模地震時に破損個所、E V点検などの報告訓練実施 - 非常食の試食実施、配布訓練方法検討
(3) 火災対策訓練（年2回） - 消防計画に則り各想定において訓練を実施 - 通報、消火、避難対応訓練の実施	実施
(4) 感染症対策訓練 - 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 - ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	- 実施 - 実施
(5) 防犯対策訓練 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	- 感染対策中につき未実施 - セコム防犯ブザーの契約継続

⑨ 感染症対策

項目	達成・成果等
新型コロナウイルス対策の強化と情報連携の継続、BCPの完成、見直し	8.11月に集団感染発生 - 作成完了、見直し等の実施
感染症状の分類が2類より5類へ変更することによる必要な準備、周知	情報収集等行い、急激な変更点は無し
嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	各機関との連携実施 今後も継続
最新情報収集をもとに各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	BCPとあわせて更新実施
各種感染症に対する予防や対応訓練を実施(年2回)	実施

・ 感染症対策委員会や看護職員が行う内部研修実施	・ 実施
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握 (インフルエンザ・新型コロナワクチン)	・ 希望者について実施

⑩ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 ・ 館内集合型の家族説明会等に代わる方法での実施継続 ・ 毎月の書面による館内報告、HP上での報告 ・ 日頃からの個別の状況報告の継続 ・ 面会の実施についての検討（方法、制限期間など、感染拡大に伴う判断） ・ 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取 ・ 毎年度一回家族向けアンケートの実施、その集計と結果の報告 ・ 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う	・ 毎月館内詳細についての通知発行 集合形式は開催なし ・ 実施 ・ 継続実施 ・ 指定場所での対面面会の実施 感染状況に応じて休止期間の短縮 ・ 継続実施 ・ 実施 ・ 実施
(2) 公的機関との連携、協力（県、市、保険者、保健所など） ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席	・ 実施、参加
・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 入所判定に関わる協力依頼 ・ 緊急受入れ依頼時の体制整備（困難、虐待ケース、包括等の公的機関からの依頼等） ・ 認定調査等の受託、日程調整、調査、立ち合いなどの協力 ・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談	・ 参加（介護福祉士会全国大会参加） ・ 実施 ・ 受け入れ態勢整備 ・ 協力実施 ・ 必要に応じて実施
(3) その他の機関との連携、協力（経営協、全国老施協、茨城県老施協など） ・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力 ・ 情報収集し、活用 ・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け	・ 参加 ・ 実施 活用

2, ショートステイ水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
利用者延人数	450	469	498	413	407	426	464	464	407	401	428	439	439
1日平均数	15.0	15.1	16.6	13.3	13.1	14.2	15.0	15.5	13.1	12.9	15.3	14.2	14.4
稼働率	93.8%	94.6%	103.8%	83.3%	82.1%	88.8%	93.5%	96.7%	82.1%	80.8%	95.5%	88.5%	90.3%

② 日常生活状況（3月末時点）

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
人数	13	1	0	7	5	2	2	10	2	9	2	0
区分	寝返り			車椅子			整容動作			褥瘡	胃ろう	酸素
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助			
人数	6	5	3	0	0	3	6	5	3	0	0	0

③ 計画に関する報告

ベッド数	16 床	年間利用可能床数	5,840 床
------	------	----------	---------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 89.5% 目標	・ 達成 90.3%
・ 平均的要介護度 2.7 を目安とする	・ 達成 2.8
・ 平均空床期間を昨年度より削減する（－5％）	・ 稼働率達成のため達成
・ 定期的なルート営業先を検討し実施（月2回）	・ 感染対策のためFAX電話での対応継続
・ 取手市外エリアの営業先選定及び実施と、新規提携先を開拓（2か所）	・ 感染対策のためFAX電話での対応継続
・ 魅力度UPへの改善点や方針の検討	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 顧客不足下においても集客を向上させる営業手段の検討（月2回検討と実施確認会議）	・ 稼働安定会議にて検討を実施
・ 感染症拡大時もしくは、その前段階時での入居受入方針を臨機応変に	・ 集団感染の状況に応じて医師の指示のもと迅速にすすめる体制の構築
・ 顧客満足度（CS）向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 稼働安定会議にて検討を実施
・ 併設居宅からの紹介者数向上の努力を（昨年度平均よりプラスを目指す）	・ 迅速な状況提供している 継続
・ 新たな加算への検討と実施	・ 検討中

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラムの継続実施 ・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施（年2回）	・ eラーニング等で学ぶ体制の整備 ・ リーダー会議などを通して育成する体勢の整備
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 実施 ・ 受講（介護福祉士会、老施協等主催）
(2) 外部研修計画	
※ 実施すべき研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容把握	
※ ジョブモデルアカデミー（eラーニング）の活用	
i 介護職 ・ 介護技術 ・ ユニットケア ・ 認知症ケア ・ ターミナル対応	・ 実施 個人受講、外部研修受講
ii 事務職 ・ コンプライアンス、プライバシー、ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講、外部研修受講
iii 専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講、外部研修受講
iv 全共通 ・ 感染症関連 ・ 防災防犯 ・ 権利擁護、身体拘束関連 ・ ICT、AI関連・各種管理者研修 ・ AED使用訓練	・ 実施 個人受講、外部研修受講
v 専任担当者 ・ カスタマー対応（苦情対応）・リスクマネジメント関連 ・ 安全運転 ・ 介護保険関連	・ 実施 個人受講、外部研修受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	
・ 専門業務をより集中させるための業務仕訳とその改善方法を検討	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 効率UPに繋がる ICT・AI等活用の見守り等の機器の調査	・ 介護ソフト（ケアカルテ）の活用
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（－10%）	・ 時期により差があるが取組み中

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
(1) 排泄介助関連	
i 自宅での排泄状況の把握、適切な排泄方法を検討、提案、実施ケアプランに基づくケアの実施	・自宅での状況を把握し、維持向上のためケアプランに基づき実施
ii 排泄状況の確認、観察、記録、報告、見直し プライバシーの保護、意思の尊重、安全への配慮、自宅でも必要な機能維持	・継続実施
III 排泄介助にかかわるケアマイスター制度の創設、実施ご利用者の清潔保持、尊厳保持、心地よさの追求職員の技術力向上の底上げ、技術が優れた職員の絞り込み、指導者の選定漏れなどが減少することによる経費削減、称号を得ることでのモチベーションのアップ	・コロナ禍により中止 ・オムツメーカー変更に伴い再度検討 ・継続検討実施
(2) 栄養口腔ケア関連 自宅での食事、栄養摂取状況の把握、適切な食事、栄養摂取方法を検討、提案、実施栄養バランス、楽しく美味しく安全な食の提供の工夫、配慮、環境整備ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
(3) 入浴介助関連 自宅での入浴状況の把握、適切な入浴、清潔保持方法を検討、提案、実施状況や体調変化に応じた対応、ケアプランに基づくケアの実施保清、快適さ、身体観察の機会としてのサービス提供	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
(4) 認知症対応関連	
i 自宅でのBPSDなど症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、実施ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
ii 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアに関する研修受講、研修内容についての伝達研修 認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ	・特養と連動し検討実施
(5) 医療対応関連	
i 自宅での医療の状況、症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、実施 ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
ii 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない重症者を出さない、BCPの備え、シミュレーション等の訓練実施、正しい知識最新情報の収集、周知 発生時の初動対応、用品、用具の備え	・各種研修の受講 ・館内研修の実施 ・館内発生時の対応についての周知の継続
ii 服薬に関する情報共有	・在宅での状況を把握し情報共有

iii 介護に必要な医療知識の向上	・館内研修の実施
iv 褥瘡予防、発見した場合の報告、対応	・速やかに報告の実施継続
(6) 看取り対応関連 i 対応については個別対応	・対象者なし
(7) 権利擁護、プライバシーの保護関連 i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底 虐待行為の禁止、プライバシー保護、個人情報保護	・委員会を通し継続実施
ii 身体拘束廃止未実施減算の確認、取組、その周知徹底 身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取り組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施	・要件に沿っての運営の継続 ・達成 昨年度 0件 ・年間を通して文章等で周知 継続 ・達成 継続
(8) 介助技術力向上 i 定期的な研修受講による介護全般の技術向上を図る 外部講師（理学療法士）による動作介助の基礎から応用まで 毎月1回 選抜数名により実施、各ユニット内で実践	・動作介助研修の定期開催継続 ・達成 継続 ・さらなるスキルの向上をはかる

⑤ 自立支援・重度化防止計画

項目	達成・成果等
・嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の全体的な実施	・専門家指導の下、実施中
・生活リハビリとして、洗濯物たたみ等の役割を訓練として実施、新たな提供内容検討	・洗濯、タオルたたみ・テーブル拭き・自室床ワイパーかけ・花の水やりなど
・栄養や口腔管理への意識向上	・継続
・LIFEへの適切な対応	・取組める加算を実施
・新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	・集団感染時は中止。影響ない場合については、状況確認しながら実施

⑥ レク娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・敬老会を縮小規模にて実施
・季節感を味わえるレクリエーションの提供	・四季に応じたレクリエーションの実施
・外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	テイクアウト、料理レクの実施
・新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・状況に応じたレクリエーションの提供
・レク提供のアウトソーシング化を検討	・未実施
・DX（デジタルトランスフォーメーション）時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・検討中
・クラブ活動実施の工夫と参加促進（感染症対策を講じ、安全に配慮した実施の検討）	
(1)合唱クラブ	開催なし

(2)書道クラブ	開催なし
(3)映像鑑賞クラブ	開催なし
(4)料理クラブ	開催なし

⑦ 看取り時対応計画

※ ④－(6)に準ずる	ショートステイは対象無し
-------------	--------------

⑧ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う。在宅利用者の場合、事前に天災等が予期出来る際には利用中止等の判断、あるいは安全にご帰宅いただく。全職員への非常時連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む） ・ 垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認 ・ 水平避難の検討、訓練（避難場所、避難方法など） ・ 全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）	・ 委員会活動内での周知 ・ 部署ごとに屋上への避難経路確認実施 ・ 防災訓練等と合わせて実施 ・ 避難場所の検討等委員会活動内で周知 ・ 実施
(2) 地震対策訓練 ・ 施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練 ・ 非常食等の必要物資配布の訓練	・ 小規模地震時に破損箇所、E V点検などの報告訓練実施 ・ 非常食の試食実施、配布訓練方法検討
(3) 火災対策訓練（年2回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施 ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 実施
(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 実施 ・ 実施
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 感染対策中につき未実施 ・ セコム防犯ブザーの契約継続

(6) 在宅における災害支援 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性の判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成	・ ケアマネ、地域からの情報収集、今後検討
(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練 ・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行 ・ トラブル時の対応	・ ドライバー会議の実施 研修受講 ・ トラブルについての周知

⑨ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 新型コロナウイルス対策の強化と情報連携の継続、BCPの完成、見直し	・ 8.11月に特養にて集団感染発生 ・ 作成完了、見直し等の実施
・ 感染症状の分類が2類より5類へ変更することによる必要な準備、周知	・ 情報収集等行い、急激な変更点は無し
・ 嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 各機関との連携実施 今後も継続
・ 最新情報収集をもとに各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	・ BCPとあわせて更新実施
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施(年2回)	・ 実施
・ 感染症対策委員会や看護職員が行う内部研修実施	・ 実施
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握(インフルエンザ・新型コロナワクチン)	・ 希望者について実施

⑩ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 ・ 館内集合型の家族説明会等に代わる方法での実施継続 ・ 毎月の書面による館内報告、HP上での報告 ・ 日頃からの個別の状況報告の継続 ・ 面会の実施についての検討（方法、制限期間など、感染拡大に伴う判断） ・ 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取 ・ 毎年度一回家族向けアンケートの実施、その集計と結果の報告 ・ 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う	・ 毎月館内詳細についての通知発行 集合形式は開催なし ・ 実施 ・ 継続実施 ・ 指定場所での対面面会の実施 感染状況に応じて休止期間の短縮 ・ 継続実施 ・ 実施 ・ 実施
(2) 公的機関との連携、協力（県、市、保険者、保健所など） ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席	・ 実施、参加

・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 入所判定に関わる協力依頼 ・ 緊急受入れ依頼時の体制整備（困難、虐待ケース、包括等の公的機関からの依頼等） ・ 認定調査等の受託、日程調整、調査、立ち合いなどの協力 ・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談	・ 参加（介護福祉士会全国大会参加） ・ 実施 ・ 受け入れ態勢整備 ・ 協力実施 ・ 必要に応じて実施
(3) その他の機関との連携、協力（経営協、全国老施協、茨城県老施協など） ・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力 ・ 情報収集し、活用 ・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け	・ 参加 ・ 実施 活用

3, デイサービスセンター水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	26
利用者延人数	492	491	472	500	558	499	495	520	493	465	468	446	492
1日平均数	19.7	18.2	18.2	19.2	20.7	19.2	19.0	20.0	19.7	19.4	18.7	17.2	19.1
稼働率	78.7%	72.7%	72.6%	76.9%	82.7%	76.8%	76.2%	80.0%	78.9%	77.5%	74.9%	68.6%	76.4%

② 日常生活状況（3月末時点）

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	車椅子
人数	42	8	2	21	28	3	9	40	3	12	30	10

③ 計画に関する報告

1日定員数	25名	年間利用可能人数	7,725名(309日)
-------	-----	----------	--------------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 77.4% 目標	・ 未達成 76.4%
・ 平均的要介護度 2.1 を目安とする	・ 未達成 2.0
・ 定期的なルート営業先を検討し実施（月2回）	・ 感染対策継続のためFAXなどでの対応
・ 利根町の営業先選定及び実施	・ 感染対策継続のためFAXなどでの対応
・ 新規提携先を開拓（2か所）	・ 感染対策継続のため未実施
・ 魅力度UPへの改善点や方針の検討	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 顧客満足度（CS）向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 在宅部署会議にて検討を実施
・ 集客を向上させる営業手段の検討（月2回検討と実施確認会議）	・ 在宅部署会議にて検討を実施
・ 併設居宅からの紹介の連携と検討	・ 実施中
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施	・ 検討中

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラムの継続実施	・ eラーニング等で学ぶ体制の整備

	・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施（年2回）	・ リーダー会議などを通して育成する体勢の整備
ii	管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 該当者なし ・ 実施
(2) 外部研修計画 ※ 実施すべき研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容把握 ※ ジョブメドレーアカデミー（eラーニング）の活用		
i	介護職 ・ 介護技術 ・ 認知症ケア	・ 実施 個人受講
ii	事務職 ・ コンプライアンス、プライバシー、ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講
iii	専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講
iv	全共通 ・ 感染症関連 ・ 防災防犯 ・ 身体拘束関連 ・ ICT、AI関連・各種管理者研修 ・ AED使用訓練	・ 実施 個人受講
v	専任担当者 ・ リスクマネジメント関連 ・ 安全運転	・ 実施 個人受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 稼働安定会議（幹部用）にて対応
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	・ 人員の過不足もあり実施継続
・ 限りある職員による、見守り・レク・機能訓練のバランスよい提供方法を検討	・ 人員の過不足もあり実施継続
・ 効率UPに繋がる ICT・AI等活用の見守り等の機器の調査	・ 介護ソフトの活用
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）	・ 会議の時間を固定し実施

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
(1) 排泄介助関連	
i 自宅での排泄状況の把握、適切な排泄方法を検討、提案、実施	・ 自宅での状況を把握し、維持向上のためケアプランに基づき実施

	ケアプランに基づくケアの実施	
	ii 排泄状況の確認、観察、記録、報告、見直し プライバシーの保護、意思の尊重、安全への配慮、自宅でも必要な機能維持	・継続実施
	III 排泄介助にかかわるケアマイスター制度の創設、実施 利用者の清潔保持、尊厳保持、心地よさの追求 職員の技術力向上の底上げ、技術が優れた職員の絞り込み、指導者の選定 漏れなどが減少することによる経費削減 称号を得ることでのモチベーションのアップ	・コロナ禍により中止 ・オムツメーカー変更に伴い再度検討
(2)	栄養口腔ケア関連	
	i 自宅での食事、栄養摂取状況の把握、適切な食事、栄養摂取方法を検討、提案、実施 ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
	ii 口腔栄養スクリーニング 加算 i 算定のための取組み 6ヶ月ごとに情報提供を実施する	・未実施
	iii 栄養バランス、楽しく美味しく安全な食の提供の工夫、配慮、環境整備	・継続実施
(3)	入浴介助関連	
	i 自宅での入浴状況の把握、適切な入浴、清潔保持方法を検討、提案、実施 ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
	ii 入浴介助加算 i に加え、II を算定する為の取組 要件通りに個別の入浴計画書を作成し、計画書に基づき入浴介助を実施する	・未実施 検討
	iii 保清、身体観察の機会としてのサービス提供	・継続実施
(4)	認知症対応関連	
	i 自宅でのBPSDなど症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、実施 ケアプランに基づくケアの実施	・ケアプランに基づき実施
	ii 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアに関しての研修受講、研修内容についての伝達研修 認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ	・特養と連携し実施の検討 ・部署内での対策検討実施
(5)	医療対応関連	
	i 自宅での医療の状況、症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、実施 ケアプランに基づくケアの実施	・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援の継続
	ii 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない、重症者を出さない	・各種研修の受講

	BCPの備え、シミュレーション等の訓練実施、正しい知識最新情報の収集、周知 発生時の初動対応、用品、用具の備え	・ 部署内発生時の対応についての周知
	iii 服薬に関する情報共有	・ ケアマネを含む情報共有の実施継続
	iv 介護に必要な医療知識の向上	・ 研修など受講継続
	v 褥瘡予防、発見した場合の報告、対応	・ ケアマネを含む情報共有の実施継続
(6)	権利擁護、プライバシーの保護関連	
	i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底 虐待行為の禁止 プライバシー保護、個人情報保護	・ 委員会活動を通じて継続実施 ・ デイ会議でも周知、教育の継続
	ii 身体拘束廃止未実施減算とならない取組、その周知徹底 身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取り組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施	・ 特養と同様に実施 ・ 達成
(7)	介助技術力向上	
	i 定期的な研修受講による介護全般の技術向上を図る 外部講師（理学療法士）による動作介助の基礎から応用まで 毎月1回 選抜数名により実施、各ユニット内で実践	・ 動作介助研修の定期開催継続 ・ 達成 継続 ・ さらなるスキルの向上をはかる

⑤ 機能訓練提供計画

項目	達成・成果等
・ リハビリ専門職と連携し、個別機能訓練のモニタリング・アセスメントと改善の実施	・ 外部講師による定期的な指導 ・ 継続実施
・ 自宅でのリハビリ、身体状況の把握、適切な対応方法を検討、提案	・ 継続実施
・ ケアプランに基づくケアの実施	・ 継続実施
・ 嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の毎日実施	・ 継続実施
・ 個別入浴に関するモニタリング・アセスメントの実施（入浴介助加算Ⅱ）	・ 未実施
・ 栄養や口腔管理への意識向上（口腔栄養スクリーニング 加算ⅰ）	・ 未実施
・ LIFEへの適切な対応	・ 継続実施
・ 生活リハビリも兼ね備えた機能訓練提供への思考	・ 継続実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	・ 継続実施

⑥ レク・娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・ 昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・ 特養と合同敬老会を縮小規模にて実施

・ 季節感を味わえるレクリエーションの提供	・ 部署内での工夫にて実施
・ 外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	・ 部署内での工夫にて実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・ 部署内での工夫にて実施
・ DX時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・ 検討中

⑦ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う。在宅利用者の場合、事前に天災等が予期出来る際には利用中止等の判断、あるいは安全にご帰宅いただく。全職員への非常時連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む） ・ 垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認 ・ 全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）	・ 委員会活動内での周知 ・ 部署ごとに屋上への避難経路確認実施 ・ 防災訓練等と合わせて実施 ・ 避難場所の検討等委員会活動内で周知 ・ 実施
(2) 地震対策訓練 ・ 施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練 ・ 非常食等の必要物資配布の訓練	・ 小規模地震時に破損個所、E V点検などの報告訓練実施 ・ 非常食の試食実施、配布訓練方法検討
(3) 火災対策訓練（年2回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施 ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 実施
(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 実施 ・ 実施
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 感染対策中につき未実施 ・ セコム防犯ブザーの契約継続
(6) 在宅における災害支援 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性の判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成	・ ケアマネ、地域からの情報収集、今後検討

(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練 - 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行 - トラブル時の対応	- ドライバー会議の実施 研修受講 - トラブルについての周知
---	--

⑧ 感染症対策

項目	達成・成果等
新型コロナウイルス対策の強化と情報連携の継続、BCPの完成、見直し	- BCP作成完了 - 見直しについて随時実施
感染症状の分類が2類より5類へ変更することによる必要な準備、周知	関係機関との連携、情報収集実施 今後も継続
主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	各機関との連携実施 今後も継続
在宅でのご本人、同居の家族等の健康観察の記録や利用時の報告のルールの厳守	継続実施
利用中の体調変化時のルールの厳守	継続実施
既往等による体調変化についての事前相談とその周知、ルールの厳守	継続実施
各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	継続実施
各種感染症に対する予防や対応訓練を実施(年2回)	特養と合同及び部署独自で実施
感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	受講
ご利用者の予防接種実施の把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	希望者について実施、把握

⑨ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 - 館内集合型の家族説明会等に代わる方法での実施継続 - 毎月の書面による館内報告、HP上での報告 - 日頃からの個別の状況報告の継続 - 毎年度一回家族向けアンケートの実施、その集計と結果の報告 - 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取 - 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う	- 毎月館内詳細についての通知発行 集合形式は開催なし - 実施 - 継続実施 - 継続実施 - 実施 - 実施

(2) 公的機関との連携、協力（県、市、保険者、保健所など） ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席 ・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談	・ 参加 ・ 協力実施 ・ 必要に応じて実施
(3) その他の機関との連携、協力（経営協、全国老施協、茨城県老施協など） ・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力 ・ 情報収集し、活用 ・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け	・ 参加 ・ 実施 活用

1, 居宅介護支援事業所水彩館

① 平均顧客数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
要支援（人）	35.0	32.0	33.0	32.0	32.0	32.0	32.0	34.0	37.0	37.0	41.0	41.0	34.8
要介護（人）	116	119	122	123	121	120	122	123	121	123	127	132	122
利用者数（人）	133.5	135.0	138.5	139.0	137.0	136.0	138.0	140.0	139.5	141.5	147.5	152.5	139.8

（※要支援者は、0.5名として換算する。）

② 要介護度別状況（名）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
要介護	1	71	69	71	67	66	66	69	70	72	72	80	78	71
	2	26	27	28	30	28	28	27	27	24	26	20	24	26
	3	6	9	9	10	11	11	10	10	9	9	13	14	10
	4	11	11	12	13	12	12	12	12	12	13	11	11	12
	5	2	3	2	3	4	3	4	4	4	3	3	5	3
計		116	119	122	123	121	120	122	123	121	123	127	132	122

③ 計画に関する報告

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月顧客数 130.6 名	・ 達成 139.8 名
・ 計画基準単価は要介護1～2の単価にて算出する	・ 左記の通り運営
・ 併設事業所との連携を強化し、在宅部全体における収益とサービス力向上に貢献する	・ 達成（積極的に紹介し利用あり）
・ 特定事業所算定（R4年7月付）の要件等継続	・ 継続中
・ 収益安定を図るため、適用件数増加への準備と実施	・ 達成
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施	・ 必要に応じ実施
・ 新規利用者の確保	・ 達成（新規依頼あり）

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ 施設内研修の参加 ・ 主任ケアマネ及び先輩ケアマネによるOJTの実施	・ 実施 ・ 実施実施
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回）	・ 管理者との面談を実施
(2) 外部研修計画	

※メディパスアカデミー（eラーニング）の活用	
・全職員認定調査員現任研修の参加 ・介護支援専門員更新研修 ・茨城県介護支援専門員協会研修参加 ・取手市介護支援専門員協会研修参加 ・各自の基礎資格、スキルに応じた研修の参加	・実施 ・実施（3名） ・実施 ・実施（年3回） ・実施（包括主催研修）

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ ICTやテレワーク活用による業務を臨機応変に活用する（オンライン担当者会議やモニタリングなど）	・ 実施（オンライン研修）
・ 業務のムダとムラを判別し改善を検討	・ 実施（ケース毎に検討）
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 未実施
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（－10％）	・ 達成

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・ 権利擁護に関する支援方法	ケース毎にケース検討、事業所内OJT実施
・ ハラスメントに関する対応方法	事業所内会議内で内容を検討、共有

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
水害対策訓練 (1) ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 持ち出し物品の選定と実施訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）	・ 法人内対応方法について情報共有 ・ 個々のケース対応については検討中
(2) 地震対策訓練 ・ 事務所の火災箇所、破損箇所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 個々のケース対応について検討中

(3) 火災対策訓練（年2回）	・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 法人内防災訓練等により実施
(4) 感染症対策訓練	・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 未実施（検討中）
(5) 防犯対策訓練	・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 未実施
(6) 在宅における災害支援	・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性の判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成	・ 個々のケース対応について検討中
(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練	・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行 ・ トラブル時の対応	・ 実施

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	地域及び法人内で情報収集共有している
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 実施
・ 各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	・ 実施
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 実施（法人内研修）
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 未実施（不参加、情報共有あり）
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 地域及び法人内で情報収集共有している

⑦ ご家族・公的機関との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 ・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等あった場合の対応、報告、記録 ・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談に対応できる ・ 質の高い相談支援技術、ケアマネジメントの推進	・ 実施（困難ケースや苦情にはケースに応じ管理者同行し対応している）
(2) 公的機関との対応 ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席	・ 実施（会議参加）

・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 保険者、近隣保険者との日常的な連携、情報共有の継続 ・ 地域包括支援センターと連携し、支援困難な事例にも居宅介護支援を提供できる ・ 行政や包括支援センター等の開催する医療、介護にかかる事例検討会、研修の参加	・ 実施（地域包括や市役所、病院からの困難ケースにもできる限り対応している）
(3) その他の機関との連携、協力(介護支援専門員協会、経営協、全国老施協、茨城県老施協等) ・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力 ・ 情報収集し、活用 ・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け ・ 介護支援専門員実務研修等への協力	・ 実施（研修・会議参加し事業所内会議にて情報共有している） ・ 未実施（実務研修依頼なし）

2, 訪問看護ステーション そら

① 平均訪問回数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
目標値	380.0	380.0	380.0	380.0	380.0	380.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	390.0
実績値	304.0	308.2	313.7	312.2	306.2	289.0	300.1	287.8	305.8	315.5	326.8	346.8	309.7
達成率	80.0%	81.1%	82.6%	82.2%	80.6%	76.1%	75.0%	72.0%	76.5%	78.9%	81.7%	86.7%	79.4%

② 計画に関する報告

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月訪問件数 353 回	・ 未達成 309.7 回
・ 計画基準単価は、看護・リハビリにおいて「訪問看護 13・15」単価にて算出する（介護保険において、看護60分・リハ40分を1回として依頼を受けられているか）	・ 基準単価に準じた訪問を意識する
・ 事業所認知度向上を目指し、困難事例や強みを強調しながら、効率的な営業活動を	・ 困難事例の受け入れは断りする事なく、利用者情報を聞き入れ事例検討し受け入れ対応。 ・ 営業活動は継続
・ 居宅からのイメージ改革を検討（地域のために役立つ・依頼が容易であること）	・ 依頼し易いステーションの構築 ・ 依頼を断らないステーションの構築
・ 近隣医療機関、クリニック等との連携強化	・ F A Xやいきいき i ネットを活用し連携を図る
・ サ高住や住宅型有料への営業活動を	・ 未実施
・ 新規提携先を開拓（3 か所）	・ 新規提携先開拓 3か所済
・ 併設居宅からの紹介者数向上の努力を（昨年度平均より+10%）	・ 未達成のため、更なる連携強化を
・ 作業療法士の必要性を年度内において検討（精神疾患への対応強化）	・ 現在OT不在の為、引続き検討
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施（サービス提供体制強化加算（Ⅱ））	・ サービス体制強化加算（Ⅱ）算定継続中 ・ 6月から新加算算定予定

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ ケースカンファレンス実施 ・ 同行訪問の振り返り実施	・ 日々においてカンファレンス実施 ・ 課題点等は、即日報連相し検討する
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施	・ 所長への面談実施
(2) 外部研修計画	

・ eラーニングの活用	・ 各々で研修参加 継続
・ 茨城県看護協会教育計画に沿い各々が積極的に参加し自己研鑽する	・ 各々で研修参加 継続
・ 日本看護協会教育計画に沿い各々が積極的に参加し自己研鑽する	・ 各々で研修参加 継続
・ 地域病院主催の研修に各々が積極的に参加し自己研鑽する	・ 各々で研修参加 継続

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ ICT活用による業務効率向上を検討する（オンライン担当者会議など）	・ タブレット端末にて活用中 ・ 会議等については検討中
・ 業務のムダとムラを判別し改善を検討	・ 都度検討し継続中
・ テレワークを活用した業務方針を検討（感染症対策と訪問・待遇効率向上）	・ 第5類への移行もあり、必要性の有無を検討
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 携帯端末の機種選択を検討したい
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（－10％）※緊急訪問除く	・ 達成、引続き継続

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・ 医療依存度の高い利用者を対象にした地域訪問看護ステーションの研修の参加	・ 実施、引続き継続
・ 経験豊富なスタッフから技術を学ぶ	・ 実施、引続き継続
・ あらゆる利用者の看護展開ができるよう誰もが訪問できる体制の構築	・ 意識改革等、対応能力を高めるチーム作りを構築中
・ 困難事例を受け入れ地域医療・多職種の繋がりを構築	・ 受入れ継続

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 持ち出し物品の選定と実施訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 法人の研修・訓練に参加 ・ BCP作成済

(2) 地震対策訓練 ・ 事務所の火災箇所、破損個所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 法人の研修・訓練に参加
(3) 火災対策訓練（年2回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 法人の研修・訓練に参加
(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 地区ブロックで開催 継続
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 法人の研修・訓練に参加
(6) 在宅における災害支援 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成 ・ 訪問、移動中の災害発生時対応	・ 災害時の手帳を作成 継続 ・ 地区ブロックで開催 継続
(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練 ・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行 ・ トラブル時の対応	・ 安全運転への心がけとアルコールチェックの継続

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	・ 対応中、引続き継続
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 対応中、引続き継続
・ 各種感染症に対するマニュアル確認と必要に応じた更新	・ 更新し業務遂行 継続
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 研修・実施済 継続
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 内部研修への参加が未実施
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 確認を行い、業務を遂行

⑦ ご家族・公的機関との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との対応 ・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等あった場合の対応、報告、記録 ・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談に対応できる	・ 対応し、記録等を実施

(2) 公的機関との対応 ・ 医師会、医療機関等との日常的な連携、情報共有の継続 ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席 ・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 保険者、近隣保険者との日常的な連携、情報共有の継続 ・ 行政や包括支援センター等の開催する医療、介護にかかる事例検討会、研修の参加 ・ 行政や担当部署や包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携	・ 連携、情報共有し業務を遂行 継続 ・ 参加 継続 ・ 未実施 ・ 状況に応じて対応 ・ 研修参加し、引続き継続 ・ 研修のファシリテーターとして参加 ・ 連携を行い、引続き継続
(3) その他の機関との連携、協力（訪問看護協会、経営協、全国老施協、茨城県老施協等） ・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力 ・ 情報収集し、活用 ・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け	・ 看護協会 看護技術研修委員会へ参加し関係性を高めた ・ 医療措置協定の締結

3, 移送サービス水彩館

① 平均訪問回数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	28.0
実績値	44.0	49.0	50.0	44.0	43.0	42.0	39.0	38.0	42.0	25.0	20.0	27.0	38.6
達成率	110.0%	122.5%	125.0%	110.0%	107.5%	105.0%	243.8%	237.5%	262.5%	156.3%	125.0%	168.8%	156.1%

② 計画に関する報告

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月訪問件数 30.6 件	・ 達成 38.6 回
・ 計画基準単価は、1 送迎 1,000円にて算出する（往復は2回と算定）	・ 左記単価にて算定
・ 登録委託者の確保(1名以上)	・ 未達成
・ 送迎種別の多種化を検討	・ 買物等の送迎を実施
・ 併設事業所との連携を強化し、在宅部全体における収益とサービス力向上に貢献する	・ 在宅連携会議参加にて、他事業所共通の利用者等の情報共有を実施

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ 安全運転に関する講習など ・ 感染対策に関する研修など	・ 安全運転、緊急時等の対応を再確認 ・ オンライン研修の受講実施
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回）	・ 担当者との面談実施
(2) 外部研修計画	
・ メディパスアカデミー（eラーニング）の活用	・ 送迎関係項目の視聴済
・ 取手市福祉有償運送運営協議会への参加（同協議会主催毎年12月）	・ 会議参加を実施。他団体等の現状を知り、業務の問題点を選定し、改善策を検討した
・ 取手市移送サービス運営継続検討会への参加（市主催2ヶ月に1回）	
・ 移送サービス運転者講習会への参加（6月・12月）	・ 会自体が未開催

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 外部委託者の確保とその方法を検討	・ 他団体の募集方法を参考に、潜在有資格者への声掛けを検討
・ 業務のムダとムラを判別し改善を検討	・ クラウド型管理ツールを活用し、業務の効率化を図る

・ 効率の良い感染対策の検討と実施	・ 法人内他事業所と同様の対策を実施
・ （研修や会議以外）時間外労働数を昨年度より削減する（－１０％）	・ 達成

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・ 内部での安全運転研修へ移送運転者も参加	・ 外部講師による危険予知トレーニングを受講
・ 利用者移送時の急変時への対応策を学ぶ	・ オンライン研修にて受講済み
・ 利用者の日常動作に異変を感じた場合、キーパーソンやCMへの報連相を行う	・ 継続して報連相を実施していく

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う。館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える。	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 持ち出し物品の選定と実施訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練（一斉メールの活用）	・ 悪天候時は運行の中止を事前に説明 ・ 利用者情報等は持出が困難にならない対策として、外部HDD等の活用を行う
(2) 地震対策訓練 ・ 事務所の火災箇所、破損個所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・ 角利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 特養での訓練へ参加
(3) 火災対策訓練（年２回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 特養での訓練へ参加
(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 特養での研修へ参加
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 特養での研修へ参加

(6) 移送中の災害発生時対応 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難先等の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成	・ BCP作成 各部門ごとの対応に記載
(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練 ・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行 ・ トラブル時の対応	・ オンライン研修受講済み ・ 有事は緊急時の対応マニュアルにて対応

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	・ 利用前の体調確認を運転者健康チェック実施
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 基本的にはご利用者担当ケアマネとの報連相を実施
・ 各種感染症に対するマニュアル確認と必要に応じた更新	・ 他事業所に合わせた対応
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 特養での訓練へ参加
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 未実施
・ サービス実施前日の体調確認	・ 感染拡大期間において実施
・ 利用者、職員、委託者共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 職員については確認を実施

⑦ ご家族・公的機関と対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との対応 ・ ご家族・ご本人とのコミュニケーションで適度な信頼関係を構築する ・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等の対応、報告、記録 ・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談できる体制 ・ 担当CM、MSWへの情報共有、PRを定期的に行う	・ 誠実な対応を心掛けた ・ 広報とりでへの掲載を依頼
(2) 有償ボランティアの対応 ・ スケジュール表の管理 ・ 利用者情報の共有 ・ 守秘義務の徹底 ・ 謝金の請求支払い	・ スケジュール等の情報受渡しはメールにて実施 ・ 規定通りの支払いを実施
(3) 公的機関との対応 ・ 公的機関主催の各種会議や研修、協議会、講習会への協力参加、委員として出席 ・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 各情報提供依頼への協力 ・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談	・ 移送団体連絡会参加（R5年度は2回） ・ 福祉有償運送協議会参加（12月） ・ 苦情、事故件数 0件